

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

②施設・事業所情報

名称：介護老人保健施設三田あすみの丘	種別：介護老人保健施設	
代表者氏名：施設長 河口和子	定員（利用人数）： 84名	
所在地：〒214-0034 川崎市多摩区三田1丁目14番2号		
TEL：044-935-5401	ホームページ： http://www.misasakai.or.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：平成21年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人三篠会		
職員数	常勤職員： 40名	非常勤職員： 24名
専門職員	医師 1名	作業療法士・理学療法士 3名
	薬剤師 1名	介護支援専門員 1名
	看護師（准看護師含む）12名	支援相談員 1名
	管理栄養士 1名	
施設・設備 の概要	（居室数） 26室 （4人部屋17室、3人部屋3室、 2人部屋1室、1人部屋5室）	（設備等） 食堂、浴室、トイレ、厨房、 趣味活動スペース等

③理念・基本方針

法人理念「あゆみのこころ」を大切に、施設内での目標を定める。
 利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら生活機能の維持・向上を目指すため『包括的ケアサービス』『リハビリテーション』『在宅復帰』『在宅生活支援』『地域に根ざした施設』という5つの役割と機能を念頭に、利用者に応じた目標と支援計画を立てサービスを展開していく。

また、利用者の目指す生活スタイルに近づけるよう情報収集し、カンファレンス等にて利用者の家族、地域との結びつきを深め、ニーズを掘り下げ、地域福祉に貢献する。一方で、心身機能の低下や家庭状況により在宅復帰が困難な利用者に対しては、利用者一人ひとりが満足できる生活を送れるよう日々の関わりを持ち、心身両面の支援を行う。市区町、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、病院と連携し、入所・通所のサービスが利用しやすいよう支援する。

④施設・事業所の特徴的な取組

ノーリフティングケアの推進。認知症ケアの向上のためユマニチュードの導入。多職種が関わる尊厳のある質の高い看取りの実施。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年7月7日（契約日）～ 2022年4月7日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（令和元年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

人材育成計画の策定など長期的な展望を職員に明示して人材育成に取り組んでいる
 法人として開催している新人研修、フォローアップ研修、考課者研修に加え、施設において年間研修計画を作成して職員の育成に努めている。ノーリフティングケアに関しては定期的に個別の研修を実施し、技術の取得を促している。年2回の定期的な上長面接と年1回の施設長面接によって職員の意向・ニーズを把握し、人材育成計画の策定など長期的な展望を職員に明示している。また、個人別、経験別に職員一人ひとりに必要な研修計画を策定し、施設の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる。

利用者の心身状況に合わせた排せつ支援と職員研修にも力をを入れて取り組んでいる
 アセスメントやモニタリング、排泄表をもとに利用者一人ひとりの排泄状況を把握しながら、トイレの声かけや誘導の時間などを決めている。介助により、つかまり立ちで便座へ移乗ができれば、トイレでの排泄を促すようにしている。尿漏れの多い利用者や水分量の少ない利用者などには尿測を行っており、それらによって尿取りパッドの大きさが利用者一人ひとりに適したものになるようにしている。また、職員のオムツフィッター研修取得に力をを入れており、全職員のシフトを調整しながら研修を受けられるようにし、研修を行った職員もオムツフィッター研修3級から2級といった形で、更なる資格取得ができるように支援している。

◇改善を求められる点

服薬に関するマニュアル整備が必要とされる

薬剤師が朝・昼・夕・寝る前と分けた利用者ごとの薬を2人の看護職員がダブルチェックをし、医務室にて薬を保管している。その後、配薬時には介護職員が利用者の名前を呼んで飲み込むまでの確認を行い、誤薬防止に配慮して配薬を行っている。服薬や薬に関することなどOJTにて研修を行い職員間で共有化を図っているが、薬に関するマニュアル整備の検討が望まれる。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審し、現在行っているサービスを見直す機会となりました。ご利用者及びご家族調査では、施設職員の聞き取りではうかがうことのできない具体的なご意見をいただくことができました。

また、訪問調査では職員からの聞き取りや書類の閲覧により実施しているサービス内容等について確認いただき、至っていない点のご指摘やアドバイスをいただきました。第三者評価後、マニュアルの見直しや作成、コロナ禍でも可能なご家族、地域との関りの検討等に着手しています。

ご利用者の生活が少しでも向上するためのきっかけとなったと感じています。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり